南部地域振興課学習情報紙　みなみ風　第１０号

２０２３年（令和５年）６月

発行　南部地域振興課

住所　福山市沼隈町大字草深１８８９番地６

電話　９８０－７７１３

FAX　９８７－２３８２

e-mail[nanbu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:nanbu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp)

南部地域振興課，仮庁舎での業務がスタートしています。

沼隈体育館東側に移転しています。沼隈支所の業務もこちらで行っています。

南部地域振興課は２階にあります

駐車場は仮庁舎南側（給食センター側）です。左側から入ります。

シリーズ山本瀧之助生誕１５０年　その２

瀧之助が初めて出版した本「田舎青年」について

山本瀧之助が生きた時代，田舎の若者たちの多くは尋常小学校を卒業した後，家の仕事である農業をしていました。

一方，都会に住んでいる一部の若者は，中学校・高等学校・大学へと進学し，学生・書生と呼ばれ，将来をになう青年として，認められていました。

全国の若者のほとんどは，青年とは認められず，道ばたに転がっている石ころのように相手にされませんでした。それゆえに，田舎に暮らす若者たちは将来への明るい希望が持てない生活をしていました。

「田舎青年」は，その若者たちに「やる気」を起こさせるために何とかしようと思った瀧之助が23才で初めて出版した本です。

瀧之助は

社会から放置されていた田舎の若者も都会の若者と同じ青年であり，全国青年の大部分を占める田舎の青年こそ国家の根幹である。全国の若者が，夢や希望を持って生きる道を進んで欲しい！

ということを伝えたかったのです。

次回はその３　瀧之助のことば　です！お楽しみに！

ウクライナ！戦禍の中の子どもたちから届いた平和への願い

あなたは何を感じられましたか？　私たちには，何ができるのでしょうか？

戦争は最大の人権侵害です。ウクライナへのロシアの侵攻は続き，ニュースでは戦闘シーンや廃墟が放送され戦略を講じる政治家たちが映し出されています。しかし，そこには映ってはいない戦争に巻き込まれている多くの子どもたちがいます。子どもたちの心は深く傷つけられていることでしょう。日本へも避難されている方々がいます。福山市内にも小さな子どもとともに暮らしている家族がいます。犠牲になっているのは，私たちと同じく毎日を平和で楽しく暮らしたいと思っている市民です。

昨年は，ウクライナの就学前学校の先生からメールで届けられた子どもたちの絵や写真を沼隈支所等に展示し多くの方に見ていただきました。それらは，世界幼児教育・保育機構（OMEP＊）日本委員会副会長の福山市立大学，大庭三枝先生に，「戦禍で暮らす子どもたちのことを一人でも多くの日本の人に知ってもらい平和への行動につなげて欲しい。」という思いで送られたものです。

今年は紙面を使って，いくつかを紹介していきます。

＊OMEPとは，ユネスコ等と連携し乳幼児の権利を擁護し促進する活動を行う世界的な組織です。

写真１

空爆が始まった直後のウクライナの地下鉄構内の写真です。爆弾から逃れて来たおとなたちが，子どもたちのために遊ぶスペースを作りました。地上では恐しい爆撃があるが，遊べる場所を確保し子どもたちの気持ちを少しでも和らげられることを願って…。

写真２

コンクリートの壁に太い配管が通っているここは，地下シェルターに作られたプレイルームの写真です。防空警報が出されるといつ解除になるかわかりません。避難中も子どもたちが遊べる空間です。ここのあるおもちゃやマットなどは，空襲の合間に，おとなたちが家から少しずつ運び込んだと思われます。

写真３

今年の春，就学前学校の地下シェルターで活動する子どもたちの写真です。部屋の中でもしっかり防寒着を着ているのは，換気するとき外と同じくらい寒くなるからだそうです。マイナス20度にもなるウクライナでは，３月でもまだ雪景色です。

戦禍の中でも，子どもたちの心までは侵させない，発達を保障するためのおとなたちの懸命な努力を感じます。

協力・写真提供は，市立大学教育学部の大庭三枝准教授です。

南部おでかけ情報

平家谷花しょうぶ園

開園は6月3日　土曜日から6月25日　日曜日

（期間より早く終了することがあります）

開園時間は10時から16時

入園料はおとな500円，子ども200円

かしわ餅の販売もあります

イベント予定

6月18日　日曜日11時　日舞

予告なく変更になることがあります。

問合せ先　０９０－７５０７－７２９４（門田）

もしもの災害に備えよう！

人権・社会教育活動事業　なんぶクローズアップ出前講座

「EVAG（イーバッグ）を活用した避難行動の疑似体験」

　～誰もが助かるために～避難するなら 今！

参加体験型のシミュレーション教材（EVAG）を通じて，避難行動の疑似

体験を行います。

ＥＶＡＧ （イーバッグ）とは　Evacuation　Activity　Game　（避難行動訓練ゲーム）

の略称で，豪雨災害等における災害情報を受け取った個人が，避難行動とその行動によって起きるさまざまな判断，課題などを疑似体験し，「自助・共助」の重要性について考え合うための教材です。（対象は高校生以上）

要申込み　電話，または FAX，メールにて

定員　おおむね１６から２４人（相談に応じます）

問合せ・申込み先は南部地域振興課

電話 084-980-7713

FAX 084-987-2382

メール　[nanbu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:nanbu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp)

人権啓発リーフレットができました！

今年のテーマは「子どもの人権」です。

現在の社会は，子どもたちが安心して暮らせる状況になっているでしょうか。

子どもはおとなによって保護され，守られるべき存在です。だからといって，子どもの主体性や意思をおとなが奪うことがあってはいけません。

このリーフレットはそんな，子どもの人権について考えるために作成しました。

子どもには大きく分けて四種類の権利があります。

大きく分けた4つの権利を「いじめ」「虐待」「意見表明」「育つ・生きる」の観点から，事例も含めて考えていくことができます。

子どもの人権の基本は「個人として尊重」され，「最善の利益が優先」されることです。今年の4月に施行された「こども基本法」にもそのことは明記されています。ぜひ団体別研修会や住民学習会で，ご活用いただき，多くの人とともに学習を深めてください。

お知らせ

千年交流館はここです！

沼隈図書館に入ってすぐ，１階の山本瀧之助記念室の向かいに事務室があります。

こちらは千年交流館です！沼隈支所とは別の建物で業務をしています。